

# ICT教育で変化する新しい学びの形

(Information and Communication Technology)



問合せ 教育総務課 ☎991-1864

文部科学省が示すGIGAスクール構想の実現に向け、松伏町でもICT環境の整備を進めています。

今回表紙の写真は、小規模特認校である金杉小学校で試験的に行われた外国語の授業の様子です。児童たちはタブレットを使用し、画面越しに自校のALT以外の方の英語に触れ、自己紹介や日常会話に挑戦しました。

令和3年度からは町内各小中学校にICT環境が整備され、1人1台の学習端末や電子黒板（プロジェクター&スクリーン）を活用した「新しい学び」がスタートします。

## GIGAスクール構想とは

子ども達への1人1台端末と高速で大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、特別な支援を必要とする子どもを含め、多彩な子ども達の資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する計画のことです。



▲リモートで繋がっています！



（ これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層の充実  
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ）

「1人1台端末」ではない環境

「1人1台端末」の環境

一斉学習

・教師が電子黒板等を用いて説明し、子どもたちの興味関心意欲を高めることはできる

学びの  
深化

・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる  
→子どもたち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能になる



個別学習

・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）

学びの  
転換

・各人が同時に別々の内容を学習できる  
・各人の学習履歴が自動的に記録される  
→一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能になる



協働学習

・グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい

・一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる  
・各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる  
→全ての子どもが情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる



松伏町のICT教育は大きく次の3つのステップで進んでいくよ！



例えば…

- 電源のオン・オフなどの基本的な機器操作
- 文字入力
- カメラ機能の使用
- インターネットを使った調べ学習等

ステップ1

「誰でも」「すぐにでも」「いつでも」活用できる。

例えば…

- 国語：文章作成ソフトを活用した、
  - ①効率的な修正
  - ②より良い文章の作成
- 理科：観察や実験時の動画撮影による振り返りや分析等

ステップ2

教科の学びを深め  
学びの本質に迫る。

工夫次第で、学びの可能性は無限大に！！

ステップ3

教科の学びをつなぐ。  
社会問題等の解決や一人一人の夢の実現に活かす。